

## 自主ボランティア活動報告書

※全項目を記入してください。

活動日	令和7年7月27日	天気	晴れ
氏名		登録番号	1153

### 〈活動場所・行程〉

東電小屋→東電分岐→温泉小屋→段吉新道→兎田代上分岐→三条ノ滝展望台→平滑ノ滝展望台→温泉小屋→東電分岐→見晴→山の鼻→鳩待峠

### 〈具体的な活動内容〉

上記行程において、清掃活動を行い、東電尾瀬橋では泥で汚れたタオルハンカチを回収、段吉新道においても泥で汚れたフェイスタオルを回収した。また、見晴地区及び鳩待峠への登山道においても、落ちていたお菓子の個包装を回収し、いずれも自宅に持ち帰って処分した。

### 〈現地の状況（混雑度（木道上を絶えず人が行き交う等具体的に）・植物・木道等）〉

- ・東電小屋を6時半ころ出発したが、三条ノ滝までは非常に人が少なく、ときおり2~3人のハイカーに会うのみだったが、三条ノ滝分岐から平滑ノ滝展望台に向かう途上では（8時半前後）、合計15人前後のハイカーとすれ違った。
- ・温泉小屋地区の公衆トイレが使用不能であることを現地で（トイレの前まで来て）初めて知ったが、周知（特に現地周辺での周知）が十分でないように思われた。
- ・段吉新道の木道は傷んでいるが、通行に支障はない。
- ・三条ノ滝展望台に下りていくクサリのかかった古い木の階段は、踏面が狭くて歩きにくく危険なので、付け替えが望まれる。

### 〈ふりかえり（反省と改善方法、気づいたことなど）〉

午後12時過ぎに戸倉の駐車場に戻ると、その時間から尾瀬に行こうとする普段着の観光客が二組いて、今から行つても観光パンフレットなどでよく見る尾瀬ヶ原には行けない旨係員の方が説明しているところだった。一組は説明に応じて行くのを取り止めたが、もう一組は「鳩待峠をぶらぶら歩いて戻ってくるだけだ」と言ってそのまま強行してタクシーに乗り込んでいた。今後、星野リゾートが開業すると、このような観光客も増えそうなので、観光・旅行業界の協力も得ながら事前の（現地に来る前の段階での）啓発には力を入れる必要があるようと思われた。

※報告内容のホームページ・機関誌等への掲載について（報告者は登録番号のみ表示）

・

否

（いずれかに○を付けてください）

（公財）尾瀬保護財団